COP10に向けたNGO・NPOのネットワーク強化・提言事業

～ 生物多様性を考えるNGO･NPO、市民のHyogo対話 ～

事業実施報告書

平成23年3月

財団法人 ひょうご環境創造協会
Hyogo Environmental Advancement Association

目　次

Ⅰ　事業実施の趣旨・目的と概要

1　趣旨・目的…… 1
2　概要…… 1
3　COP10にかかる㈶ひょうご環境創造協会の取組み …… 4

Ⅱ　環境NGO・NPO、市民等との生物多様性連携講座

1　第１回　生物多様性シンポジウム
　　兵庫県の生物多様性の変遷と生物多様性保全の取り組みについて考える…… 5
2　第２回　COP10準備ワーク① …… 22
3　第３回　COP10準備ワーク② …… 38
4　第４回　生物多様性リレーシンポジウムKOBE-HYOGO…… 39
　第１部　特別講演…… 41
　第２部　パネルディスカッション…… 50
　第３部　COP10報告会 …… 67
　ポスターセッション発表団体一覧…… 98
5　第５回　生物多様性Hyogo市民宣言を広げよう …… 104

Ⅲ　生物多様性国際シンポジウム

1　写真…… 109
2　概要…… 111
3　基調講演　発表資料…… 113
4　セッション１　発表資料…… 121
5　セッション２　発表資料…… 137
6　パネルディスカッション議事録…… 156
7　ポスターセッション発表団体一覧…… 162

Ⅳ　COP10での提言活動

1　COP10生物多様性交流フェア　ブース展示 …… 167
2　COP10サイドイベント …… 167

Ⅴ　資料集

1　生物多様性Hyogo市民宣言リーフレット…… 169
2　生物多様性Hyogo市民宣言への賛同メッセージ…… 171
3　ブログ「ひょうご環境創造協会COP10情報」 …… 172
4　生物多様性リレーシンポジウムKOBE-HYOGO　参加者アンケート結果…… 172
5　生物多様性連携講座　第５回　参加者アンケート結果…… 174

Ⅰ　事業実施の趣旨・目的と概要

1　趣旨・目的

平成22年は「国際生物多様性年」であり、10月には名古屋でCOP10が開催され、各種の国際的な枠組みを策定された。

このような状況で、㈶ひょうご環境創造協会では、昨年度に「生物多様性の危機！地球温暖化が与える影響」をテーマとして実施した「環境NGO・NPO Hyogo対話」において、会場での情報交換と討議をもとに作成した「提言」を具現化し、生物多様性保全に向けた継続的な取組みにむけて、環境NGO・NPO、市民等との連携・ネットワークの強化を重点目的として実施することとした。

2　概要

⑴　環境NGO・NPO、市民等との生物多様性連携講座の開催
～COP10での提言活動に向けて～

環境NGO・NPO、市民等を対象に、昨年度の提言の具現化を考え、生物多様性の課題や今後の活動の取り組みの強化、政策立案能力の向上、NGO・NPO、市民等との連携、ネットワークの強化を目的に、連携講座を開催した。

（第１回）兵庫県の生物多様性の変遷と生物多様性保全の取り組みについて考える

～2010年版新たなレッドデータブックからみるひょうごの生物多様性～

①　日　時　　７月27日（火）　13：30～16：30
②　場　所　　県公館
③　共　催　　兵庫県
④　内　容

講演

「兵庫県の生物多様性」

兵庫県立大学　服部　保

活動事例発表

・「姫路城のタンポポの現状調査」

姫路市立姫路高等学校

・「絶滅危惧種エドヒガンの保全」

渓のサクラを守る会

・「ため池の植物を中心とした生き物調査」

播磨ウエットランドリサーチ

・「公共事業におけるレッドデータブックの活用方策」

㈱ウエスコ

・「いきものみっけ事業」

㈶ひょうご環境創造協会

パネルディスカッション＆意見交換会

⑤　参加者　　250名

（第２回）提言の具現化に向けて
（COP10準備ワーク①）

①　日　時　　８月３日（火）　13：30～17：00
②　場　所　　神戸国際会館４Ｆ　402号会議室
③　内　容

講義（鷲谷いづみ氏・道家哲平氏・兵庫県）

生物多様性を守る必要性や世界的な動き、日本の動き等

ワークショップ（市民宣言づくりに向けたキーワード抽出）

共有・まとめ

④　参加者　NGO・NPO、市民等　70名

（第３回）提言の具現化に向けて
（COP10準備ワーク②）

①　日　時　　８月24日（火）　13：30～17：00
②　場　所　　神戸国際会館　９Ｆ　７・８号会議室
③　内　容

コーディネーター：鷲谷いづみ氏、道家哲平氏

NGO・NPOの立場からCOP10に向けた国際的な流れ、日本国内の動き等

ワークショップ（市民宣言づくり）と共有

まとめ

④　参加者　NGO・NPO、市民等　67名

（第４回）生物多様性保全に向けた継続的取組みに向けて（COP10報告会）

※「生物多様性リレーシンポジウムＫＯＢＥ-HYOGO」の第３部として開催

①　日　時　　11月12日（金）9：30～16：30
②　場　所　　灘区民ホール
③　内　容

第１部　　特別講演　「水族園と生物多様性」

亀崎　直樹（神戸市立須磨海浜水族園　園長）

第２部　パネルディスカッション

「生物多様性保全に向けた市民団体、NPO、企業、教育機関、行政の取組みについて」

第３部　生物多様性を考えるNGO・NPO，市民のHyogo対話「COP10報告会」

基調報告

「COP10の成果と今後の方向」

パネルディスカッション

「ひょうごの生物多様性保全の継続的取組みに向けて」

④　参加者　270名

（第５回）生物多様性Hyogo市民宣言を広げよう

①　日　時　平成23年２月16日（水）
15：00～17：30

②　場　所　神戸市勤労会館　多目的ホール

③　内　容

事業実施報告、協会等来年度事業紹介

ディスカッション（グループ討議）と共有

【テーマ：市民宣言の実現に向けての啓発方法、生物多様性保全に向けたNGO・NPO、市民の実践・連携について】

④　参加者　41名

⑵　生物多様性国際シンポジウムの開催

いのちが共生する兵庫を私たちの手で未来へ

～生物多様性を考えるNGO・NPO、市民のHyogo対話～

共　催：兵庫県、APNセンター、兵庫県立人と自然の博物館、財団法人国際エメックスセンター

①　日　時：平成22年９月９日（木）
11：00～16：50

②　場　所：兵庫県公館　大会議室
（神戸市中央区下山手通４-４-１）

③　内　容：

第１部　基調講演

テーマ「生物多様性の重要性について」
鷲谷いづみ（東京大学大学院教授）

＊ポスターセッション

第２部　セッション１

内容「生態系の保全とサービス」

コーディネーター：大園　享司（京都大学生態学研究センター准教授）

講師：椿　宜高（京都大学生態学研究センター長）

「生態系から得る恩恵やサービスについて」

谷内　茂雄（西太平洋・アジア地域の生物多様性ネットワーク事務局員）

「地域社会の活性化画環境保全と結びつくには」

ジェームス・ピータース（大メコン流域環境活動センターチーフアドバイザー）

「自然保護と持続可能な地域社会の営みへの双方有利な解決策について
～ヴェトナムの取組から～」

中尾　文子（国際連合大学高等研究所研究員）

「里山イニシアティブについて」

第３部セッション２

内容「生物多様性とNGO・NPO、市民の関わり」

コーディネーター．戸田耿介（NPO法人こども環境活動支援協会監事）

講師：道家　哲平（日本自然保護協会、生物多様性条約市民ネットワーク）

「COP10に向けた市民活動とその役割」

小倉　滋（三木自然愛好研究会）

「地域での環境教育と生物多様性」

安井　幸男（兵庫・水辺ネットワーク）

「他団体との協働による生物多様性保全」

アナック・パッタナヴィボーン
（野生生物保全論研究会タイ支部タイ・カントリープログラム・ダイレクター）

「サイチョウの里親制度」

第４部　総合セッション

パネルディスカッション

コーディネーター　鷲谷いづみ（東京大学大学院教授）

④　参加者　　350名

⑶ COP10での提言活動

連携講座に参加したメンバーや兵庫県、アジア太平洋地球変動研究センター（APNセンター）、兵庫県立人と自然の博物館関連NGO・NPO等と連携して、COP10の会場で提言活動を実施した。

① 開催期間　10月18日～29日
② 場　所　名古屋市（COP10会場等）
③ 共　催　兵庫県、㈶ひょうご環境創造協会、アジア太平洋地球変動研究センター（APNセンター）、兵庫県立人と自然の博物館
④ 内　容　展示ブース、サイドイベント等でのアピール
② ブース来訪者　約１万人

3　COP10にかかる㈶ひょうご環境創造協会の取組み

COP10にかかる（財）ひょうご環境創造協会の取組

区分	（財）ひょうご環境創造協会	兵庫県等
4月～10月	・5月22日　<参加者 168名> ・豊岡市　市民プラザ　※日本学術会議と共催 ・「生物多様性をめぐる科学と社会の対話」	
	地球と共生・環境の集い ・6月5日　<参加者300名> ・兵庫県公館 ・生物多様性に関する講演会	※共催
	第1回　生物多様性連携講座 **生物多様性シンポジウム** ・7月27日　<参加者250名> ・兵庫県公館 ・生物多様性に関する基調講演、活動発表等	※共催
	第1回企画運営委員会 ・8月3日 ・22年度の事業企画	
	第2回 生物多様性連携講座 **COP10準備ワーク①**　<参加者 70名> ・8月3日 ・講義、COP10に向けての市民宣言づくりワークショップ ・神戸国際会館	
	第3回 生物多様性連携講座 **COP10準備ワーク②**　<参加者 67名> ・8月24日 ・COP10に向けての市民宣言づくりワークショップ ・神戸国際会館	
	生物多様性国際シンポジウム「いのちが共生する兵庫を私たちの手で未来へ」～生物多様性を考えるNGO・NPO、市民のHyogo対話～ ・9月9日　<参加者350名> ・兵庫県公館 ・生物多様性に関する基調講演、ポスターセッション、活動事例発表、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ等	（※ 兵庫県、人と自然の博物館、APNｾﾝﾀｰ、ｴﾒｯｸｽｾﾝﾀｰと共催）
	ひょうごエコフェスティバル2010 ・10月16日～17日 ・県立有馬富士公園周辺	※共催
		人と自然の博物館生物多様性ツアー ・4月～12月 ・淡路成ヶ島等 ・県内各地で生物多様性に関するﾂｱｰの実施
		人と自然の博物館生物多様性特別企画 ・7月～12月 ・博物館内 ・貴重ないきものの標本等の展示
<COP10> 10月18日～10月29日	**生物多様性交流フェア【ブース展示】** ・10月18日～29日　<来訪者 約1万人> ・白鳥公園 ・生物多様性Hyogo市民宣言のPR等	**SATOYAMA国際ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ発足式典（ｻｲﾄﾞｲﾍﾞﾝﾄ）** ・10月19日13:15～14:45 ・名古屋国際会議場（白鳥ホール） **生物多様性 里山知事サミット** ・10月19日 ・名古屋駅前ﾐｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞﾎｰﾙ ・「里山里海の利用・保全と地域活性化」をテーマに、兵庫県知事等が発表 **生物多様性 里山知事サミット（ｻｲﾄﾞｲﾍﾞﾝﾄ）** ・10月20日13:15～14:30 ・白鳥公園内政府専用特設テント内 ・前日の里山知事サミットの成果報告 **ハイレベルパネル（ｻｲﾄﾞｲﾍﾞﾝﾄ）** ・10月20日13:15～14:30 ・名古屋国際会議場（白鳥ホール） ・「地域における生物多様性戦略と行動
		【人と自然の博物館】 ・10月18日～29日 ・白鳥公園 ・兵庫の生物多様性、生物多様性ひょうご戦略、活動団体の取組紹介 **【淡路景観園芸学校】** ・10月18日～29日 ・白鳥公園 ・生物多様性に配慮した庭の展示 **【瀬戸内海環境保全知事・市長会議】** ・10月23日～29日 ・熱田神宮公園 ・瀬戸内海の保全活動のPR
	生物多様性交流フェア【フォーラム】 ・10月24日　<参加者 50名> ・名古屋学院大学体育館（小会場） ・「県民参加による兵庫県の生物多様性保全の取組 ・NGO・NPO、市民によるHyogoからの提言 「生物多様性Hyogo市民宣言」の紹介	
	サイドイベント（フォーラム）　※APNと共催 ・10月25日　<参加者 60名> ・名古屋国際会議場 ・国際協力による森林再生の取組（モンゴル等）	**生物多様性国際自治体会議（パネル展示）** ・10月25日～26日 ・名古屋東急ホテル ・生物多様性ひょうご戦略パネル展示等 **サイドイベント** ・10月26日　<参加者 50名> ・名古屋国際会議 ・「兵庫県における生物多様性保全の取組」 ・兵庫県の取組みと成果の世界への発信（モンゴル）
		ひとはく研究員と歩く COP10ちょっと見学ツアー ・10月19日～29日（毎日13:00～13:45） **ひとはく研究員と歩く** ・10月23日　17:00～20:00 「ヒメボタルの幼虫をみつけよう」 ・10月25日　12:00～16:00　東谷山 「東谷山のシダを見よう」
11月～	**第4回生物多様性連携講座** **生物多様性リレーシンポジウムKOBE-HYOGO** ・11月12日　※神戸市と共催 ・灘区民ホール　<参加者 270名> ・特別講演、ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ、COP10報告会	**第４回コウノトリ未来・国際かいぎ** ・10月30日～31日　テーマ：野生復帰がもたらすもの ・豊岡市民会館ほか ・基調講演、分科会、総合討論等
	第2回企画運営委員会 ・12月13日 ・22年度事業成果のまとめ、今後の展開方策の検討	
	第5回生物多様性連携講座 **生物多様性Hyogo市民宣言を広げよう** ・2月16日　<参加者 41名> ・神戸市勤労会館 ・事業実施状況、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮ	